

第2回 第2次美幌町観光振興革新戦略ビジョン策定会議

令和8年2月27日（金曜日） 9時30分
美幌町役場 第2会議室

議題

- 1 第1回の確認事項
- 2 事業者アンケートと『びほろ』みらいまちづくり会議の結果共有
- 3 観光資源の整理
- 4 課題の整理
- 5 次回までの進め方の整理

配付資料

- 資料1 事業者アンケートと『びほろ』みらいまちづくり会議の結果

委員名簿

(敬称略)

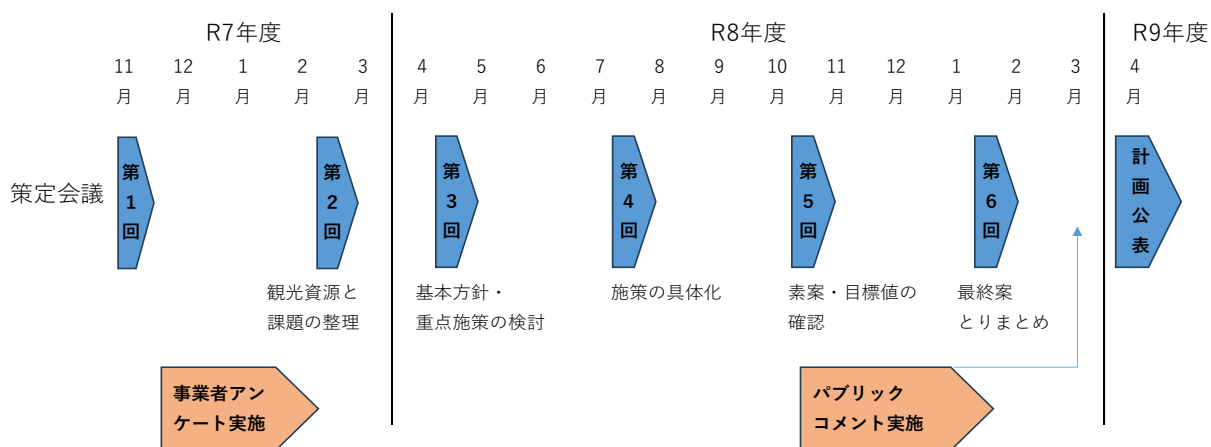
氏名	団体名等	備考
宮田 博行	美幌観光物産協会	会長
伊藤 健一	美幌商工会議所	副会長
原田 康浩	北見工業大学	
信太 真人	美幌観光物産協会	
円舘 綾子	美幌観光物産協会	
幸田 英治	美幌商工会議所	
泊り 誠一	美幌町農業協同組合	
弥三谷 和貴	美幌食堂組合	
田中 桃子	道の駅運営事業者 (株) TAISHI	
奥山 真由美	峠の湯びほろ指定管理者 (株) 道央環境センター	
小林 明弘	地域おこし協力隊	
滝川 朗正	ピーカン企画	
野口 富弘	(株) フォンブラン	
河端 勲	美幌町経済部長	

1 確認事項

(1) 策定スケジュール

第2回	R8.2.27	観光資源と課題の整理
第3回	R8.4~5	基本方針・重点施策の検討
第4回	R8.7~8	施策の具体化
第5回	R8.10~11	素案・目標値の確認
第6回	R9.1~2 R9.3	最終案のとりまとめ（美幌町議会常任委員会説明） パブリックコメント後、最終的な計画策定

予定表



(2) 第2回の位置付け

- ・事業者アンケート結果を踏まえ、「美幌の強み」と「重点課題」を共通認識化する。
- ・次回以降の「基本方針・重点施策」検討に向け、論点（何を決めるか／何を深掘りするか）を整理する。

2 事業者アンケートの結果と『びほろ』みらいまちづくり会議の結果共有

別紙資料1

3 観光資源の整理

(1) 主要観光資源の整理 (案)

資源を「核となる資源」「体験・滞在を支える資源」「回遊・拠点」の観点で整理します。

区分	代表資源 (例)	主な価値	主な課題／論点
核となる資源	美幌峠／屈斜路カルデラトレイル (KCT)	眺望・自然体験の強み。来訪動機の中核。	峠から町中への回遊、KCTの地元ファンづくり・安全対策、通年化。
回遊拠点	みどりの村 (博物館、KITEN) / 市街地 (駅周辺)	情報・休憩・体験の入口。滞在の受け皿。	役割分担 (案内・商品販売)、街中拠点の不足、駐車場等。
温泉	峠の湯びほろ	滞在価値を高める基盤。	周辺体験との連携
食・一次産業	サッシー・玉ねぎ・アスパラ等の特産品	美幌らしさ (食) の核になり得る。	ご当地グルメ開発、提供機会 (峠・街中) の拡充。
文化	工芸、歴史・文化	差別化・多様性対応	発信素材化、体験化 (学びのプログラム)。
学び	教育旅行 (農村ツーリズム)	地域理解の促進	受入体制、他コンテンツとの連携
イベント・交流	和牛祭り等	宿泊増・交流機会の創出。	運営体制の維持
アクセス	女満別空港・広域動線	来訪入口。広域周遊の基盤。	空港－美幌－峠の二次交通 (路線・予約型等) の具体化。

(2) 本日、委員会で整理したい論点 (案)

- ・核となる資源 (峠/KCT等) と、拠点 (峠・みどりの村・市街地) の役割分担をどうするか。
- ・回遊・滞在化の導線 (空港－町内－峠、峠－みどりの村－町内等) をどう設計するか。
- ・体験プログラム (自然、食、文化等) を誰が担い、どう商品化・通年化するか。受入基盤 (宿泊、交通、案内、デジタル基盤) の優先順位をどう付けるか。

4 課題の整理（案）

（1）重点課題（案）

- ・ 二次交通・アクセス（重要度が高い一方、満足度が低くギャップ最大）
- ・ 受入基盤（宿泊・拠点・駐車場等）
- ・ 情報発信・ブランド（発信量、デジタル基盤の未整備）
- ・ 体験プログラム・通年コンテンツ（商品造成、担い手、通年化）
- ・ 自然資源の活用・保全（熊対策等、安心して利用できる運用、環境の保全）

（2）議論の進め方（案）

- ・ 上記の重点課題について、優先度（高／中／低）と、次回以降の検討テーマ（誰が／何を）を整理する。
- ・ 特に「二次交通」と「受入基盤」については、実現手段と対象区間（例：空港－町内－峠）の優先順位を明確化する。

5 次回までの進め方の整理（案）

（1）事務局で次回までに用意するもの

- ・ 本日の優先順位（上位3テーマ）および資源整理（核・拠点・導線）を反映し、「重点課題（案）」を更新します。

- ・ 上位3テーマについて、方針・施策の選択肢（案）を整理します。

（例）

二次交通：対象区間（空港→市街地／市街地→峠／周遊）の優先順位、実現手段（既存交通の見直し、予約型、期間限定運行、情報整備等）

受入基盤：拠点の役割分担（峠・みどりの村・市街地）、市街地拠点の機能（案内・体験受付・休憩・物販等）、必要な整備項目の優先順位

- ・ 重点プロジェクト候補と実施体制（案）

(2) 委員の皆様へのお願い

次回の「基本方針・重点施策（案）」作成のため、各委員の立場から“現場感”をご提供ください。可能な範囲で構いません。提出はメールで箇条書きで結構です。

- ・追加したい観光資源・体験・場所
- ・「資源整理表」に、追加すべき資源（場所・体験・食・文化等）があればお知らせください。

（例）「市街地の立寄り候補」「雨天・冬期に使える体験」「工芸・学び系」「地元食材を体験化できるもの」等

- ・「優先して取り組むべきテーマ（最大3つ程度）」について各自検討
- ・各委員の立場で「協力できること（提供できる資源・情報・人材）」と「協力が必要なこと（町に求めたい支援）」をお知らせください。
（例）「体験提供が可能」「SNS 発信を強化できる」「人材・予算が必要」等

- ・連携可能な団体・事業者（交通、体験、宿泊、発信等）の情報提供